

高松及び近郊の主要なイベント紹介

22年 3月17日~28日	第2回高松国際ピアノコンクール
3月26日~4月4日	栗林公園春のライトアップ
4月10日~25日	第26回四国こんぴら歌舞伎大芝居
4月下旬	高松春のまつり・フラワーフェスティバル
5月22日~6月13日	船の祭典 2010 (土・日開催)
7月19日~10月31日	瀬戸内国際芸術祭 2010
7月下旬~9月中旬	むれ源平石あかりロード
8月12日~14日	第45回さめき高松まつり
10月中旬	第17回高松秋のまつり仏生山大名行列
10月中旬~11月中旬	玉藻公園菊花展
10月下旬	きなし盆栽植木まつり
11月中旬~下旬	栗林公園秋のライトアップ
12月中旬~下旬	第24回高松冬のまつり
23年 11月	第11回アジア太平洋盆栽水石大会 in 高松



高松老舗事業所

検索

お問い合わせは

高松商工会議所

〒760-8515 高松市番町 2-2-2
TEL087-825-3501 FAX087-825-3525
<http://www.takacci.or.jp>

創業130年以上の
事業所を
紹介!

今に伝える
伝統と
暖簾

このパンフレットを片手に、
あなたもさあ!街あるき

高松商工会議所

1 (有)三好商店

http://www.netwave.or.jp/chochin/
TEL.087-831-8008 FAX.087-831-8009
香川県高松市藤塚町 1-13-10

四国八十八箇所の奉納提灯として、1000年以上前に生まれた日本最古の提灯。江戸時代初期慶長15年(1610)創業と伝えられ、複数の型を組み合わせて、一つの提灯を製作する「一本掛け」を一子相伝で受け継ぎ、現在に至っている。

明治神宮・金刀比羅宮の御用達でもある。



香川県だけに現存する一本掛けの技法を開発し、国内はもとより国際博覧会で新しい明かりの世界を紹介し、世界的な評価を受ける。複雑な形を折りたたむ「新調度一本掛け法」を使い、人形・魚・花・うどんなど自由自在、様々な形の提灯を作り出す。



営業時間 9:00~18:00

休業日 土第1・第3日曜日、お盆、年末年始、正月定休

2 西野金陵(株)

http://www.nishino-kinryo.co.jp/
TEL.087-835-4133 FAX.087-861-8593
香川県高松市亀井町 2-8



万治元年(1658)に創業。初代嘉右衛門が阿波藍の取り扱いを始め、現在の化学品事業部がスタートした。その後、8代目嘉右衛門が琴平で酒造業を営み、清酒金陵が誕生。昭和初期から始めた酒類・食品卸売業と酒造業、化学品卸売業の3本柱で経営の礎が築かれた。

日本酒との新たな出会いを楽しむ場として創業時の酒蔵を復元した「金陵の郷」は、当時の面影を残している。

営業時間 8:30~17:15

休業日 土曜日、日曜日、祝日定休



良水の水と地元の米にこだわり、金刀比羅宮の御神酒醸造元として、「煌金陵」、「精神」特別純米、「純米」さぬきよいまいなどの清酒に加え、「大豆焼酎」、「黒州焼酎」、「さぬきの夢2000」、「米焼酎「さぬきよいまい」、リキュールでは「白下燗梅酒」、「赤燗燗梅酒」、「かりんのお酒」など、数多くの製品を送りだしている。

3 (株)筑前屋

http://www.ofuton.co.jp
TEL.087-821-5077 FAX.087-821-5080
香川県高松市扇町 2-11-1

享保8年(1723)に創業し、丸亀町で「筑前屋綿糸商店」として綿布業を営む。昭和2年(1927)、現在地にあった織布会社を吸収し、戦後、製綿、寝具の製造・卸売業を始め、現在では、「ふとんとギフトのカネチ」として営業展開中。



営業時間 10:00~19:00

休業日 水曜日、年末年始



「ふとんとギフトのカネチ」寝具、インテリアを取り扱い、多くのオリジナル商品を保有。ポーランドに製絨メーカーグース農場を持つ。

4 (株)紙の杉山

http://www.kaminosugiyama.jp
TEL.087-841-3361 FAX.087-841-640
香川県高松市春日町 160



国内全製紙メーカー一品を取り扱っており、その販売が可能。平成20年(2008)に付加価値経営を目指し、封筒加工機設備を導入。県外への積極営業を展開中。

享保9年(1724)、初代筑前屋利兵衛が丸亀町で小間物商を営む。昭和25年(1950)4月紙筑前屋商店から紙卸事業を分社独立し、杉山和洋紙店を設立する。組織変更や社名変更などを経て、現在に至る。



営業時間 8:00~18:00

休業日 第1、第3日曜日、お盆、年末年始、正月定休

